

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



2013年
6月12日号
NO 2号

♪じんけんワンだふる&
ニャンだふる♪



OYA OYA 通信

第2回目 5月29日の報告
「セクシュアル・バラエティ
～LGBTをきちんと学ぶ～
吉川 寛 内藤れん 小林和香

今年度2回目はLGBTについて学びました。ちなみにLはレズビアンで女のひとが好きな女の



ひと、Gはゲイで男のひとが好きな男のひと、Bはバイセクシャルで性別を問わず好きになるひと、Tはトランスジェンダーで心と体の性が一致しないひとのことを言います。

「セクシュアル・バラエティ～LGBTをきちんと学ぶ～」をタイトルに塩安九十九（G-FRONT関西）さんの予定だったのですが、急きょ来れなくなり、吉川 寛さん、内藤れんさん、小林和香さんの3人が進めてくれました。10代と20代の若い人たちの思いにふれることができました。

最初は、【なまえ、参加理由、セクシュアルマイノリティ】と聞いてのイメージでグループに分かれて自己紹介をしました。グループでどんなイメージが出たのかも発表し合いました。・学校で教育をするうえで知っておきたい。・金八先生を思い出した。・美輪明宏・少数者、などの意見が出ました。

その次にクイズをしました。LGBTはおおよそ

何人に一人いる？という問題では答えは30人に一人でした。クラスに一人はいるという数字です。参加者のみなさんは、その数字に驚かれています。そして「LGBTを知ろう！」の小学生向けDVDを観ました。

そのあと、次のような四つの指標を使って、3人が自分のことを紹介してくれました。自分のことも考えてみるいろいろな性のありようがあるのだと気づかされました。その後休憩をとりながらその間に質問のある人は記入しました。

休憩後、質問に答えてくれました。

「子どもは欲しいのか？」「困ったこと、トランスジェンダーとジェンダーバイアスの関係」など、の質問がでました。「人によって違うが、子どもは欲しいが自分の体を使わなくて持ってもいい」、「女子トイレに入るのがいやなのでトイレに困る」などの回答がありました。

その後、新しいグループに分かれて、感想を話し合い、各グループで「明日からできることベスト3」を発表しました。

「アンケートの性別欄に×や？をつける」「性別が2つではないことをいづも意識する」「トイレは個

①性別を4つに分けてみよう！

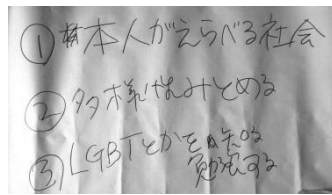
		自分の性別	
	()	女	男
自分	()	_____	_____
	()	_____	_____
相手	()	_____	_____



室にすると街づくり条例に提案する」「本人が選べる社会、多様性を認める、LGBTとかを知る、勉強する」「ホモ、オカマ、レズ（という言葉）は絶対NO！性別にとらわれない生き方をしている人たちがたくさんいることを一人でも多くの人に知ってもらい、性別を聞かない（らしい）は言わない」「今日の事を誰かに話す」ができました。

最後に、今日思ったことを自分の言葉で発信してほしいとのメッセージがありました。

(文責 ぼんみ)



【みなさんの感想】



■この学習をしていると、いかに「社会にながされて生きている」ということを考えます。知らないことを知った時のうれしさや、大切さをだれかに言いたくてなりません。

■素直で率直な話しが聴けてとてもよかったです。ありがとうございました。性別にこだわらないほうが、自分らしさやその人らしさが出しやすい。自分らしい自分、その人らしいその人でつきあいたい。男でも女でもいいやん！

■性別の問題に触れた時、自分の学校の子供達の中に、性別の問題で困っている子はいないかなあと思います。名前を呼ぶ時は、私はみんな「さん」づけにしています。「LGBTが学校生活を生き抜くための工夫ツイートまとめ」という資料を読んで、LGBTの子どもがもしいたら、こんなことに悩んでいるんやー、ああ、そうやったんやと初めて知ることが多かったです。子どもたちにわかりやすく正しくLGBTのことを教えられる方法を知りたいとなあと思います。

・女かな？よく考えてみたらピミョーやな
・漫画では よしながふみが おすすめです
友だちの友だちの友だちの友だちの友だちの友だちは大統領 世間は狭い

■「身体は男性だけど 心は女性」などは理解していましたが、どちらでもない、というのを聞いて、いろいろ考えさせられました。結局は「自分らしさ」で周囲から決められるものではないと感じました。

■“性はグラデーション”と聞いてから、マイノリティの話しを子どもに伝えやすくなりました。笑いのネタにしたり、差別的に使うメディアにブンブン！そのまま受け取る子ども達、それを文化のようにしているおとなたち…。「自分らしさ」を大切に、みんなが生きやすい社会にしたいです。

■去年と違ってやわらかい雰囲気でお話が聴けてなんだかホッとしました。ただ、性転換手術をされた方、したい方についてはまだ、質問してみたい気持ちになります。手術で身体を変えることで本当に自分らしさが得られるのですか？と聞いてみたいです。

■LGBTの話しを聴くといつも思うのは「自分らしさ」であるのだけれど、どこかジェンダーに囚われている感がぬぐえない。そこは、見た目で男か女かわかってもらうためのものであったとしても、世間にはびこったジェンダー意識はなかなか払拭できないのだなと感じる。

